

R. Y. 英語英文学科・3 年次生

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

海外の生活に憧れがあったため、留学に行ってみたくて高校生のころからぼんやりと考えていました。ドイツにした理由は、ヨーロッパの国に住んでみたいという思いがあったのと、ドイツの児童文学が好きであること、また祖父が NPO を運営していて、手伝いをするのがあり社会福祉について興味があったためです。HSD では社会学部に留学することになるので、社会福祉や社会問題について学ぶことができると考えました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

IELTS のスコアが必要だったので、IELTS の勉強をしていました。私は、ライティングが苦手だったので、Youtube のライティングの書き方の動画を見て対策していました。IELTS-up Online lessons というチャンネルの動画がとても分かりやすかったです。また、スピーキングを伸ばすために国際課が開催している英会話を利用していました。他には、AES コースであったり、国際交流スタッフをしたり普段から英語に触れられる環境が英語力の向上につながったと思います。

③ 留学決定から出発までの準備期間にしたこと

◆ 語学学習法

ドイツ語の知識がゼロだったので気休め程度に毎日デュオリンゴをしていました。

◆ ビザ申請方法

大阪の領事館に申請に行く必要がありました。領事館を訪れるためには、予約が必要なのですが、予約枠がすぐに埋まってしまうため予約枠を確保することにとても苦労しました。留学が決まったら予約をすぐにご予約することをお勧めします。申請する際に必要な書類が多くありました。在学証明書は、英語版が必要で私は日本語のものを持参してしまい再提出になったので気を付けてください。ドイツでもビザを申請することは可能なのですが、受け取るまでに数か月かかるそうなので日本でとってから渡独しました。

④ 現地到着後

◆ 空港から滞在先までの移動手段、所要時間

私はシェアハウスをしていたので、シェアハウスの住人が空港まで迎えに来てくれました。

◆ **現地でのオリエンテーション期間中にしたこと**

大学生活について説明を受けたり、他の留学生と交流したりするイベントがいくつかありました。この期間にたくさんの友達ができました。学部が違う他の留学生の人とは今後会う機会があまりないのでオリエンテーションを通して仲良くなるのが大切だと思います。

◆ **その他必要な諸手続き方法**

閉鎖口座からお金を受け取るために Revolut を開設しました。N26 で作ろうとしたのですが、現在日本のパスポートでは開設できないそうです。Wise のカードを使っている留学生も多かったです。

⑤ **語学研修期間**

語学研修はありませんでした。

⑥ **正規科目履修期間**

◆ **大学の施設・環境について**

大学の建物は近代的できれいでした。学食が安かったのでよく利用しました。

◆ **履修科目について**

・ **A 2.2 International Teamworking Skills**

集中講義です。はじめの3日はオンラインで、残りの2日は対面でした。文化が違う人同士でどうすれば円滑にコミュニケーションが取れるかについて、教授や他の生徒と話し合いながら考えました。最終課題は、自分が体験した文化の違いで生まれた誤解について授業で学んだ内容と合わせて書くというものでした。

・ **SP 9.2 International Perspectives on Social Work and Pedagogy - Part 1**

世界の問題について毎週違う先生がそれぞれトピックを持ってきて授業をしてくれます。最終課題は発表かレポートかを選ぶことができます。

・ **A 5.1 or A 5.2 In the City! Music and Urbanisation in Cultural Perspective**

集中講義です。日常にある音楽を探し、街と音楽文化の関係について学びます。最終課題はレポートです。

・ **G4.2 Social Work needs Structures! Introduction to Administration and**

Organization: Welfare Associations, Social Administration and Social Policy in the Production of Social Welfare

社会福祉とは何か、社会福祉施設を作るには何が必要なのかについて学ぶ授業です。実際に社会福祉施設を訪れ、社会福祉施設で実際に働いている人の話を聞くことができました。社

会福祉施設で将来働く学生向けの授業だったのでついていくのが大変でした。最終課題は、ミニレポート2つと、自分が行いたい社会福祉活動についての計画書を書きました。

・ **Deutsch als Fremdsprache A1**

ドイツ語についてアルファベットの読み方から習います。他の生徒もドイツ語が全く分からない人たちがばかりでドイツ語を一から一緒に勉強しました。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

HSD が行っているダンスやボルダリングに参加しました。競技の選択肢はたくさんありました。また、毎年6月に行われている日本デーのボランティアに参加しました。その他には、日本語ドイツ語ラウンジに参加しました。ドイツ人だけでなく、デュッセルドルフで駐在している日本人の方やワーホリしている方とも知り合えました。

⑧ 現地での住まいについて

寮の空きがなく寮に入ることができなかったため、シェアハウスに住んでいました。大学までは電車と徒歩合わせて10分～15分くらいの位置でした。食事は、大学がある日は大学の食堂を利用していました。普段は自炊をしていましたが、時々アジア料理を食べたくなり友達と外食に行ったりしました。

⑨ 長期休暇の過ごし方

1セメスターの留学なので長期休暇はありませんでした。しかし、帰りの日にちまでに余裕があったので、旅行に行きました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

特に何もしていません。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

色々な国の友達ができただけです。新しくできた友達と、一緒に旅行に出かけたことが本当に思い出に残っています。何をするのを見るのも新鮮で毎日とても楽しかったです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

授業では自分の意見を話さないといけない場面が多く、自分の英語力にも自信がなかったため発言することに対してとても勇気がいりました。また、自分の意見をうまく英語に出来ずもどかしかったです。

また、電車がよく遅延したり、止まったりするのですがいつ動き出すのかどうして遅延しているのかドイツ語でしかアナウンスされないことが多く不安になることがありました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

日曜日は飲食店以外のお店がほとんどしまってしまうということと、大麻が合法になったためか、いたるところで大麻の匂いがしたことです。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

私が留学した学部の学生は、将来社会福祉士になりたいと思っている人で優しい人ばかりでした。みんな将来したいことが具体的にあって、それに向かって努力している姿を見ると自分も頑張らないと、と思えました。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

タブレットにもなるパソコンを持っていきました。パワーポイントに直接メモを取れ、電子の教科書に直接書き込めるのでタブレットがとても便利でした。持って行かなかったのですが、就活用の写真を撮るためにスーツを持っていくか、事前に写真を撮っておけばよかったと思いました。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

語学力は正直あまり向上したとは思いませんが、新しいことに挑戦する勇気や、物事に対する視野が広まったと思います。頼れる人が身近にいない環境だからこそ自分自身と向き合う時間が多く成長することができたと感じます。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学に行ったからこそできた経験がたくさんあり、留学に行ってよかったと思っているので少しでも興味があるなら留学に挑戦してほしいなと思います。

Ⅳ. 将来の目標

今後の進路、将来の目標・夢

はっきりとした夢はないのですが、英語を使う職業に就きたいと考えています。

V. 写真



行ってみたかったスウェーデンのゴッド
ランド島の写真です。